



**日本国内専用**  
Use only in Japan

本製品は日本国内専用となります。  
海外での使用はおやめください。  
保証いたしかねます。

**IMZ**  
TW 200-C

簡易取扱説明書

### フィッシングシーンに、新しい価値を

この度は、IMZ TW 200-C ベイトキャスティングリールをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。  
本製品は、HYPERDRIVE DESIGN、TWS、ATD を搭載する次世代ベイトキャスティングリールです。さらに、無線通信対応リール(末尾に“C”が記載された製品)とスマートフォン(DAIWAアプリ)を連動させるテクノロジー、DAIWAコネクティングシステムを搭載しています。「コネクティング」の発想が、フィッシングシーンに新たな価値をもたらし、釣りの楽しみ方が広がります。バスだけでなくソルトまで快適なルアーフィッシングを楽しんでいただけます。このリールを正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの簡易取扱説明書およびWEB取扱説明書、製品特性上の注意をよくお読みください。また、リール同様にこの説明書も大切に保管していただけますよう、お願い申し上げます。

### 詳細な取扱説明書について

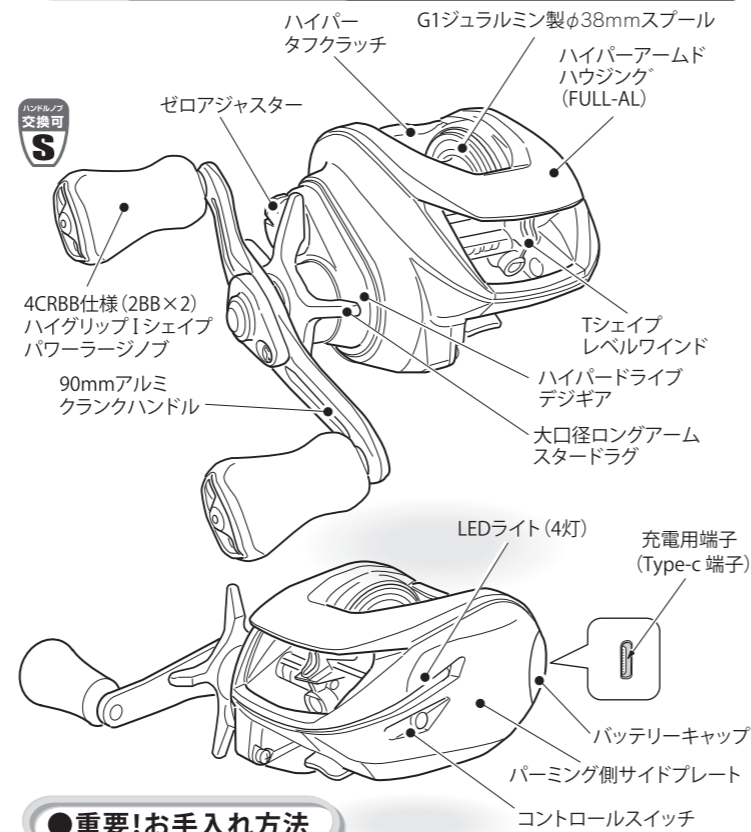
環境問題への取り組みの一環として、取扱説明書はWEB化させていただきました。製品の取扱い、およびメンテナンス等の詳細については、製品ページ内の取扱説明書をご覧ください。  
DAIWA ホームページ  
<https://www.daiwa.com/jp/>

### ヘルプガイド・よくある質問について

本製品およびDAIWAアプリに関するヘルプガイドをご用意しております。あわせてご参照ください。



### ●各部の名称と操作方法 (※図は右ハンドルモデルです。)



### ●重要!お手入れ方法

- 本製品は、精密部品で構成されています。WEB取扱説明書の注意事項を守ってお取り扱いください。
- 錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、釣行後必ずメンテナンスを行なっていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により、初期性能が低下する可能性があります。
- 本製品を未永くお使い頂くためにも、年に1度は(株)スポーツライフプラネットへオーバーホールに出すことをお勧めします。(有料)

- 推奨オイル: ダイワ純正リールガードオイル、REVボールベアリング用オイル
  - 推奨グリス: ダイワ純正リールガードグリス
- ※市販の防錆潤滑剤等のご使用は結果的にボールベアリング・グリス等の耐久性を損なうおそれがありますので、絶対におやめください。

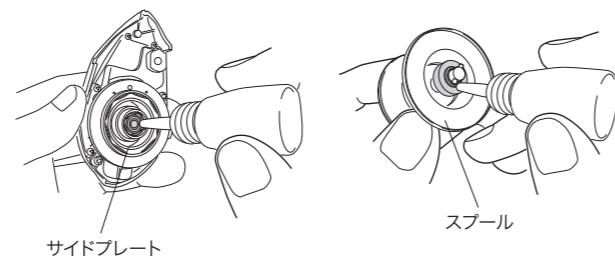
より詳しいメンテナンス方法は、WEB取扱説明書を参照ください。

### ●注油規定

**※注油規定以外の注油をされるとリール本体に不具合が発生することがあります。**

#### 【スプールボールベアリングへの注油(オイル)】

1. サイドプレートを取り外し、裏側の中心にあるボールベアリングへ注油します。
2. スプールを取り外し、シャフトに付属しているボールベアリングにも注油します。

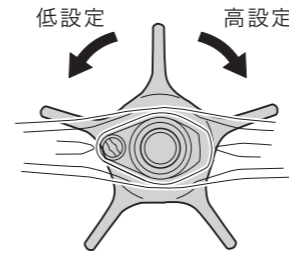


サイドプレート

スプール

### ●ドラッグ調整方法 (※図は右ハンドルモデルです。)

・右ハンドルモデルの場合、時計回りに回せばドラッグ設定は高くなり、反時計回りに回せばドラッグ設定は低くなります。(左ハンドルモデルは逆になります)使用ライン、釣種に合わせて調整を行ってください。



### ●スプールへのラインの結び方 (※図は右ハンドルモデルです。)

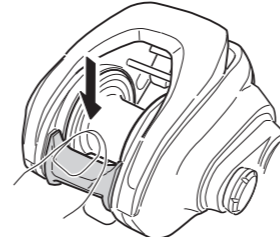
・図のようにスプールに糸を結びつけます。糸は**ピラーの上**を通してください。

※テープで固定するのはおやめください。テープで固定するとスピールの回転バランスが崩れ、「ブーン」、「キーン」といった異音が発生します。

※ピラーの下に糸を通すとTWSの効果が発揮されません。

### ●ハイパータフクラッチ

親指で軽く下に押すだけで、クラッチが切れ、スプールがフリー状態になります。親指でクラッチとスプールを同時に押さえることができるので、すばやくキャストできます。



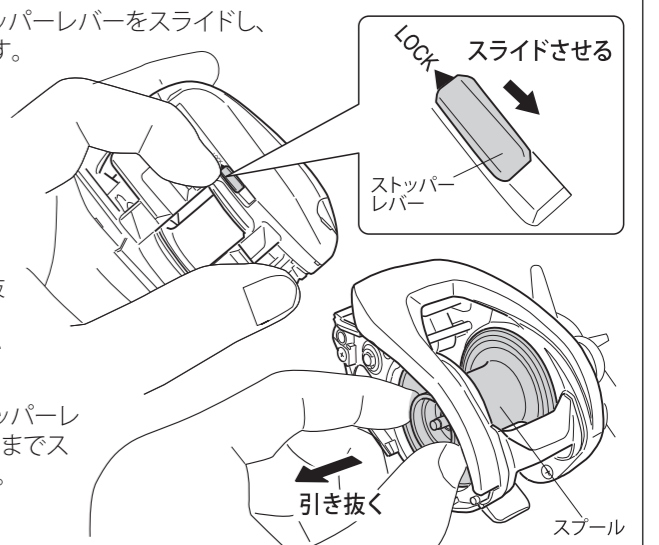
### ●スピールの交換方法 (※図は右ハンドルモデルです。)

1 サイドプレート下のストッパーレバーをスライドし、サイドプレートを外します。

※スプールを指で押さえながら外してください。押さえないと、サイドプレートと一緒にスプールが外れてしまいます。

2 スプールを静かに引き抜いてください。※スプールを落とさないようご注意ください。

※取り付けの際は、ストッパーレバーを「カチッ」となるまでスライドさせてください。

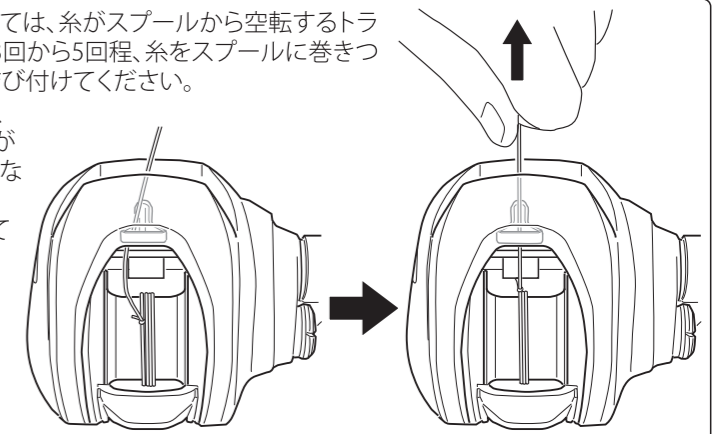


**注意** ※スプール本体のインダクトローター端面の黒色は、消さないでください。回転検知の機能に関わるものであり、製造上のマーキングではありません。また、スプール取り外しの際にも黒色部には触れずに慎重に取り扱ってください。

### ●スプールにPEラインを巻きはじめる時の結び方

・PEライン使用に際しては、糸がスプールから空転するトラブルを防止する為、3回から5回程、糸をスプールに巻きつけた後、しっかりと結び付けてください。

また、結び付けた後、強く引っ張っても糸がスプールから空転しないことを確認してから、糸巻きを開始してください。



- 本製品は日本国内専用です。海外での使用は動作保証、スマホアプリ連動および修理受付の対象外となります。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。グローブライド株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

### 【パーツ情報 確認方法】

パーツ情報については【ダイワパーツ検索システム】よりご確認ください



QRコードまたは検索

ダイワパーツ検索システム

### ●アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際はご購入の求めの販売店、または下記のお客センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料) 携帯電話からご利用できます  
TEL 0120-506-204 【受付時間】9:00~17:00 (土・日・祝祭日は除く)  
ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます  
[www.daiwa.com/jp/](http://www.daiwa.com/jp/)  
**グローブライド株式会社**  
〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

## DAIWA CONNECTING-SYSTEM

無線通信対応リールとスマートフォンを連動させるDAIWAコネクティングシステム。DAIWAアプリに製品登録を行うことで、機能・登録名設定/糸入力/釣行ログデータ閲覧/ソフトウェア更新が可能となります。

詳しくはDAIWA公式アプリへ

### ■ダイワアプリ

DAIWAアプリが釣りをもっと楽しくする。



DAIWAアプリのご紹介・操作方法・よくあるご質問などアプリの情報はQRコードから閲覧できるページでご確認ください。



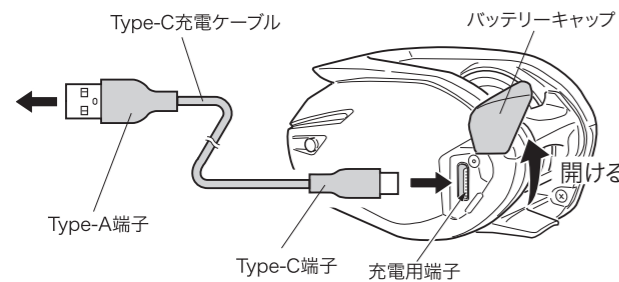
### ●ご使用前に

本製品は、リチウムバッテリーを内蔵しております。ご購入後は、充電を行ってからご使用ください。

### ●充電方法 (※図は右ハンドルモデルです。)

リール本体の充電用端子に付属のType-C充電ケーブルを接続し、充電を行います。

1. バッテリーキャップを開けます。
2. USBコネクタ(Type-A端子)をUSB電源(別売り)やパーソナルコンピュータの給電可能なUSBポートに接続してください。
3. USBコネクタ(Type-C端子)をリール本体の充電用端子へ接続します。
4. 充電が開始されると、リール本体のLEDライト(グリーン)が点灯します。
5. 充電が完了すると、LEDライトが消灯します。(約90分で満充電)
6. 充電終了後、Type-C充電ケーブルをUSBポートおよびリール本体から引き抜きます。バッテリーキャップを閉じてお使いください。  
※クラッチが下に押し込まれた状態(クラッチが切れた状態)での充電はおやめください。



### ■バッテリー残量について

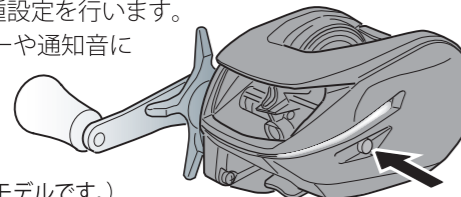
スリープ時(電源OFF)にリール本体のコントロールスイッチを押すと、LEDライト(グリーン)が点灯します。バッテリー残量は、LEDライトの点灯数で確認できます。

残量:100%~10%以上 グリーンが段階的に点灯	残量:10%未満 レッドが1つ点灯
------------------------------	----------------------



### ■コントロールスイッチ操作について

コントロールスイッチは、リール本体のパーミング側サイドプレートに搭載したLEDライトの下側に配置されています。短押しまたは長押しにより、各種設定を行います。LEDライトのカラーや通知音によって、変化を捉えます。



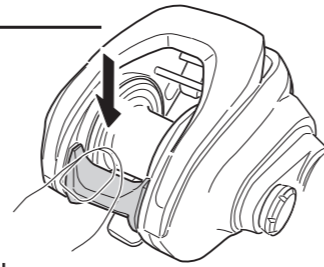
(※図は右ハンドルモデルです。)

### ■電源のONについて

リール本体電源をONにする方法は、2つ(クラッチ操作とコントロールスイッチ操作)あります。

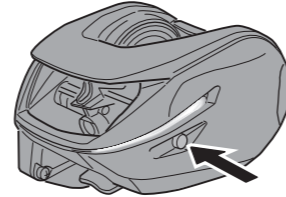
#### ・クラッチ操作での電源ON

リール本体のクラッチを下に押し込むことで、クラッチが切れ、同時に電源が入ります。



#### ・コントロールスイッチでの電源ON

パーミング側サイドプレートのLED下部に設置されたコントロールスイッチを2秒長押しし、コントロールスイッチをはなすと電源が入ります。

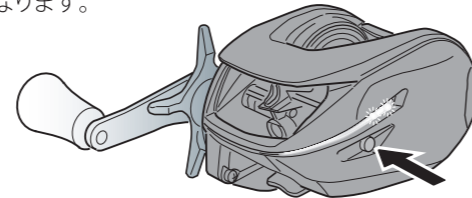


### ■電源のOFFについて

リール本体電源をOFFにする方法は、2つ(コントロールスイッチ操作と自動スリープ)あります。

#### ・コントロールスイッチ長押し

電源ONの状態ではリール本体のコントロールスイッチを5秒以上(10秒未満)長押しし、LEDライト(ホワイト)が2個点灯したことを確認し、コントロールスイッチを放します。リールがスリープ(電源OFF)になります。



#### ◆自動スリープ

一定時間リール本体の操作が無い場合、自動で電源OFFになります。DAIWAコネクティングシステム内のSetting画面にて、自動スリープ設定が変更できます。

### ●ペアリング方法

本製品をお手持ちのスマートフォンで使用するためには、ペアリング(機器への初期登録)を行う必要があります。  
※はじめてお使いになる前に必ずペアリングをしてください。

#### ■ペアリング方法:

1. リール本体の電源をOFFにしてください。
2. リール本体のコントロールスイッチを5秒以上(10秒未満)長押しし、LEDライト(ホワイト)が2個点灯したことを確認し、コントロールスイッチをはなします。
3. LEDライト(ブルー)が明滅します。
4. スマートフォンの設定画面から **Bluetooth®** をONにします。
5. DAIWAアプリを開き、TOPページから「DAIWAコネクティングシステム」をタップします。
6. 登録したアカウントにてログインをしてください。
7. リールをスマートフォンの近くにおいて「リールをスキャンする」をタップします。
8. スキャンしたリールを選択し、ペアリングを行います。
9. アプリの画面に従い、製品登録、初期設定行ってください。完了すると、リール本体のLEDライト(ブルー)が消灯します。
10. DAIWAアプリ内で登録したリールに **Bluetooth®** マークが青色に表示されていることを確認してペアリングが完了となります。  
※リール本体のペアリングモードを解除するには、クラッチ操作を行ってください。LEDライト(ブルー)が消灯します。

### ●ペアリング後のBluetooth®接続について

#### ■接続方法:

1. リール本体の電源をONにしてください。
2. DAIWAアプリTOP⇒「DAIWAコネクティングシステム」⇒「ログイン」⇒「Setting」を選択します。
3. DAIWAアプリの **Bluetooth®** マークが青色になります。

#### ※接続できない場合

- ・スマートフォンの **Bluetooth®** 設定がONになっていることを確認してください。
- ・図のように、Setting画面の **Bluetooth®** マークをタップして接続してください。
- ・それでも接続できない場合は、再ペアリングを行ってください。



### ●再ペアリング

何らかの理由で **Bluetooth®** 接続ができない場合、再ペアリングをしていただく必要があります。

#### ※注意

再ペアリングを行う場合、スマートフォンに登録された「IMZ TW200-C」を解除(もしくは削除)する必要があります。

#### ■再ペアリング方法:

1. スマートフォンの「設定」をタップ、「**Bluetooth®**」(もしくは接続済みのデバイス)を選択し、登録済みのデバイス「IMZ TW 200-C」を解除(もしくは削除)してください。



2. DAIWAアプリ⇒「DAIWAコネクティングシステム」⇒「ログイン」⇒「Setting」を選択し、「2台目以降の登録はこちら」もしくは「製品登録する」をタップしてください。
3. ●ペアリング方法 の1、2、3、4、7、8、9の手順に沿って、再ペアリングを行います。
4. Setting画面に登録されたリールが表示されます。 **Bluetooth®** マークが青色に表示されていることを確認して再ペアリングが完了となります。

#### ※注意

リール本体を『ペアリングモード』に入れた場合、再ペアリングが必要となります。ご注意ください。

### ●初期化について

リール本体のコントロールスイッチ操作により、リール本体のログデータや設定情報含むすべてのデータが削除され、工場出荷時の設定に戻ります。初期化方法は、**WEB取扱説明書**をご参照ください。  
※誤ってリール本体の初期化を行った場合は、再ペアリングを行ってください。

### ●リールを強制的に再起動する

リール本体が反応しない場合(リール本体の電源ON/OFFといった操作ができないなど)、強制的に再起動を行うことができます。何かしらの不具合が発生した場合の対処方法です。強制再起動方法は、**WEB取扱説明書**をご参照ください。

#### ※注意

- ・強制再起動時、場合によってはリールの内部データが破損するおそれがあります。むやみに強制的に再起動を行わないようご注意ください。
- ・事前にDAIWAアプリ⇒DAIWAコネクティングシステムに接続し、リール本体の釣行ログデータを引き出しておくことをお勧めします。

### ●ブレーキに関する設定方法

本製品では、リール本体のコントロールスイッチ操作によりブレーキ力設定の変更とブレーキモードの変更が行えます。各ブレーキモード内におけるブレーキ力の強弱は、8段階から設定できます。「スプールガタゼロ」の設定で、ブレーキ力を調整してください。LEDライトの数が多くほどブレーキ力は大きくなり、LEDライト数が少なくなると、ブレーキ力も小さくなります。慣れるまでは、ブレーキ力設定値を最大にしてお使いください。

#### ■ブレーキ力設定方法:

1. リール本体の電源をONにしてください。
  2. リール本体のコントロールスイッチを短押しします。LEDライトが点灯し、現在設定されているブレーキ力が表示されます。※ブレーキモード毎にLEDライトの色が異なります。
  3. さらにコントロールスイッチを連続で短押しすることで、ブレーキ力が8段階から選択できます。
  4. 従来のマグダイヤル設定と同様に、慣れに従って、徐々にブレーキ設定値を下げてください。バックラッシュ気味になる1つ手前のブレーキ設定値が、その時の条件に合った最適なセッティングです。
- ※いきなり下げ過ぎると、バックラッシュが発生します。十分ご注意ください。
- ※ブレーキ設定値が最大でもブレーキ力が足りないと感じた時に、ゼロアジャスターを少し締めてお使いいただくと、補助ブレーキの役割を果たします。

#### ■ブレーキモード設定方法:

ブレーキ特性をコントロールスイッチ操作により変更することができます。

1. リール本体の電源をONにしてください。
  2. リール本体のコントロールスイッチを2秒以上(5秒未満)長押しします。
  3. LEDライト(ホワイト)が1個点灯したことを確認し、コントロールスイッチをはなします。ブレーキモード変更可能な状態となります。
  4. 設定中のブレーキモードのカラーがLEDライトに表示されます。その状態から、コントロールスイッチの短押しを繰り返すことで、ブレーキモードの変更が行えます。
  5. 選択したいブレーキモードにて、3秒ほどLEDライトが点灯します。LEDライトが消灯すると、ブレーキモードの変更が行われ、設定完了となります。
- ※工場出荷状態では、スタンダードモードのみ使用可能であり、他のブレーキモードは選択できません。DAIWAコネクティングシステムからスマートフォンとペアリングすることで、他のブレーキモードが取得可能になります。リール本体の性能を引き出すためにも、DAIWAアプリへの登録を強くお勧めします。

### ●電子保証について

本製品をDAIWAアプリに登録すると、電子保証が付与されます。DAIWAコネクティングシステム⇒Setting⇒リール設定⇒リール登録情報に「電子保証が有効」と表示されます。電子保証を発行するためにも、DAIWAアプリへの登録を強くお勧めします。  
※注意:リールの初回登録時のみに電子保証が付与されます。リール登録情報を削除すると、電子保証も削除されます。ご注意ください。